

第15回全日本ユース(U-15)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2022/12/26】

この試合のプレー集計

準々決勝

群馬県選抜

| | | | |
|----|-----|---|---|
| 12 | 4 | － | 2 |
| | 1 | － | 1 |
| | 6 | － | 0 |
| | 1 | － | 1 |
| | PSO | | |

4 長崎県選抜

審判： 津崎 明日美
潮崎 正一

| | | | | |
|-------|-----|------------|-----|-------|
| 群馬県選抜 | 21 | SH数 | 20 | 長崎県選抜 |
| | 3 | 速攻数 | 5 | |
| | 7 | ST・SB | 2 | |
| | 10 | SH・P誘発アシスト | 3 | |
| | 67% | GK阻止率 | 20% | |
| | 3 | EX反則数 | 1 | |

ST・SB：ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

関東予選で勝ち抜いた群馬。久しぶりの優勝を目指しての初戦は、GK⑬荒木の活躍が目立った長崎戦。

【1P】

群馬は⑥齋藤が攻防の転換で退水を誘発し、そのまま自身が決めて先制したが、対する長崎は⑮梶原がミドルレンジからのシュートを決めて同点。しかし群馬は積極的に前に出て⑫星が決めてリードを奪う。群馬のシュートが外れて、長崎④岡－⑧林田のホットラインで取り返す。長崎GK⑬荒木が前に出て守ることを突いて、⑨深澤が見事なループシュート、さらに小柄な⑥齋藤がセンター位置からのシュートを決め、群馬ペースで第1ピリオドを終える(群馬4－2長崎)。チーム全体への確かな指示を送って随所に牽引する⑥齋藤のプレーが光った第1ピリオド。

【2P】

長崎は力のある⑧林田がセンターから決めて3点目。群馬はなかなか攻撃が繋がらず、オーバータイムが連続。しかし、長崎のシュートをGK①富岡がブロックしてからのセット攻撃で⑥齋藤が見事なアシストパスを繰り出して、右45°の⑨深澤が決めて再び2点差に。1回戦の東京戦では好セーブを連発した長崎GK⑬荒木だが、群馬の動きのある攻撃にはまだ十分対応できていない様子。この2点差をどうお互いが対応するか。群馬5－3長崎で前半を折り返した。

【3P】

群馬のセンター攻撃に長崎GK⑬荒木がペナルティ。そこを⑥齋藤が決めて3点差。さらに前に出ている長崎GK⑬荒木を見透かすような右45°からのループシュートを⑮深澤が決め、さらにセンター⑧前田の力強いシュートで群馬が8点目。一気に差を開いた。さらに⑧前田が追加点を奪い、長崎を意気消沈させ、⑥齋藤がダブルマークをかいくぐって中央ドライブSHで10点目をマーク。群馬の攻撃は両サイドから同時に迫ることから、長崎GK⑬荒木の注意を分散させてマークを絞らせない。プールを幅広く使った群馬が大きくリードして第3ピリオド終了(群馬11－3長崎)。

【4P】

群馬のミスからカウンター攻撃をかけた長崎。⑧林田がこのゲーム3点目を決めて群馬11－4長崎。長崎は渾身の力で猛攻を仕掛けるが、群馬の厚い壁に阻まれ得点できない。逆に群馬がセンター⑧前田が追加点で引き離し、最後は双方がタイムアウトを取ってから猛攻するが試合終了。結局、群馬12－4長崎で試合巧者の群馬に凱歌が上がった。

ゲーム序盤、群馬は⑥齋藤がよく動き、チームに指示を出して試合の主導権を握ったことが勝因で、長崎はそのスピードに追従できないまま試合を終えた形となった。日ごろからの試合経験の豊富さがこうした試合では大きく作用した形となった。ユース世代の水球はどれだけプールを広く使ってプレーするかが重要ということを示した。